

「群馬県一大きな笠懸小学校は思いやりも群馬県一」を目指します！



みどり市立笠懸小学校  
学校だより No.9  
2020.12.25

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

## 2学期もたいへんお世話になりました

いろいろなことがあった2学期でしたが、本日で終了となりました。

コロナ禍ではありますが、対策を講じながら可能な限り学習活動や学校行事、PTA行事などを実施してきました。保護者の皆様や地域の方にはたくさんの場面で支えていただき、改めまして心より感謝申し上げます。

ただ、心残りは授業参観や運動会、一日限りの美術館などやむを得ず中止や制限をさせていただいたことで、もっとも子育てが楽しいこの小学校生活を保護者様に十分味わっていただけなかったことは残念でなりません。全国的に感染者が増加している中ですが、3学期も実施方法を工夫しながら精一杯教育活動を行ってまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。それでは、よいお年をお迎えください。

## コロナ禍の笠小2学期まとめ

### 8,9月

まず、始業式では、「チャレンジの2学期」

として勉強に運動に取り組むこと、対策をしっかりとみんなでコロナを乗り越えることについて話しました。①手洗い②マスク③換気④ディスタンスについて確認しましたが、もっとも大切なのは、お父さんお母さんや先生に言われてやるのではなく、自分で気付いて行動し「自分の身は自分で守る」ことを伝えました。

運動会については、市内各小中学校や他市の大規模校と連絡と取り合いながら、実施方法を検討しました。前橋、高崎、太田などは運動会を中止し代替行事を実施した学校もありましたが、本校では特に練習時の接触が多い表現運動を避けて、規模を縮小して実施することにしました。また、6年生の鼓笛についても管楽器の使用をやめ、打楽器やフラッグを中心とした演奏に行いました。保護者様には立ち見をお願いしたり、地域の皆様には観覧をご遠慮いただいたりしましたが、子どもたちの一生懸命取り組む姿や満面の笑みを見ると、何とか子どもたちに充実感、達成感を味わわせることができたのではないかと思います。



2年・笠小宅急便



3年・大玉どっこいしょ



4年・もっこ de GO!



5年・玉入れ大河ドラマ「5年がくる」

## 10月

春の遠足・校外学習は秋に延期となり、6年生を除いては10月の実施となりました。1年生は運動公園、2年生は岡登親水公園、3年生は富弘美術館・ぐんま昆虫の森、4年生は群馬県庁・ぐんまフラワーパーク、5年生はたくみの里へと出かけ、それぞれ楽しい一日を過ごすことができました。5年生は、宿泊の林間学校が日帰りに縮小してしまいましたが、工芸品づくりや伝統技術などの貴重な体験活動や里山の散策など充実した一日を過ごしました。また、「GoTo トラベル」の制度を活用し、バス運賃の割引を受けたり、クーポンを利用してりんごのお土産をいただいたりしました。



2年・岡登親水公園



3年・ぐんま昆虫の森



4年・群馬県庁



5年・たくみの里

また、10月13日（火）には、群馬県知事戦略部デジタルトランスフォーメーション課の視察を受けました。山本知事が進めるデジタル基盤の整備やICTを活用した医療や教育の改革を行うために任命された最高責任者「CDO」である岡田亜衣子氏が来校し、大規模校の子どもたちの学習状況や教職員の働き方を視察しました。デジタルを導入して得られる教育効果や教職員の働き方改革への活用について質問を受けました。学校として子どもたちや教職員のためにできるだけ早期の導入を要望しました。



CDO・岡田亜衣子氏

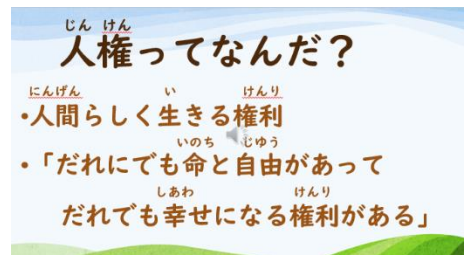
## 11月

11月9日（月）、6年生の修学旅行を実施しました。6年生の子どもたちや保護者様にはたいへんご心配をいただきましたが、当初の予定から宿泊を日帰りに、また方面を鎌倉方面から那須ハイランドパークに変更しました。11月の那須は想像をはるかに超える寒さで、小雪が舞うような天気でしたが、子どもたちは広い敷地の中を目当てのアトラクションへと歩いていきました。オフシーズンの平日のため、午前中は乗り放題、午後は人が増え、列を作っているアトラクションもありました。



あちこちで歓声が聞こえ、子どもたちが楽しそうにしている様子を見ると、連れてこられてほんとうによかったとほっと胸をなで下ろしました。

本校では、毎年11月に「人権集中学習」を行っています。今年度は、放送朝礼で人権について子どもたちに話をしました。笠小の学校教育目標は「やさしく」がはじめにあること、「思いやりも群馬県一」を目指していることなどに触れました。その後は、人権の意味や外国では生きるために働かなければならない子どもたちの現状を動画で紹介しました。まとめとして、せっかく豊かな日本で暮らしているのだから、人を傷つけることを言ったり暴力を振るったりしないようにと伝えました。



11月20日（金）、全国の感染者数が増加している中ですが「一日限りの美術館」を開催しました。子どもたちは自分たちの感性だけを頼りに作品鑑賞をしていました。有名な芸術家だからとか、高価な作品だからとかの先入観に左右されることなくどの作品も同じスタートラインに立っているといった状態でした。そんな子どもたちの反応を一番楽しみにしていたのは、この事業を行っている財団や美術品を扱っているディーラーの方々でした。「いつか外国やどこかの美術館でこれらの作品と再会した時に『あっ、あの時の！』と思い出してくれるといいな」と話していました。終了後、職員、PTA会長さんとお世話くださった皆さんとともに、あの折り鶴の作品の前でパチリ！



この事業を行っている財団や美術品を扱っているディーラーの方々でした。「いつか外国やどこかの美術館でこれらの作品と再会した時に『あっ、あの時の！』と思い出してくれるといいな」と話していました。終了後、職員、PTA会長さんとお世話くださった皆さんとともに、あの折り鶴の作品の前でパチリ！

## 12月

12月になると日に日に感染状況が悪化し、群馬県の警戒度はついに「レベル4」へ。しかし、学校は粛々と教育活動を行っています。子どもたちは真剣に勉強し、職員もよい授業を提供するため日々頑張っています。



自分の思いを発表する1年生



将来の夢をノートにびっしり書く4年生

3学期もよろしくお願いたします。